

平成 25 年度さけます関係研究開発等推進会議

「研究部会」議事次第



日 時： 平成 25 年 8 月 5 日（月） 9：30～12：30
場 所： ホテル ライフオーブ札幌 （札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 TEL:011-521-5211）
主 催： 独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所

1 挨拶

主催者：北海道区水産研究所長

2 議 事

- (1) 各機関における研究開発の実施状況
- (2) さけます類の来遊状況についての意見交換
- (3) 太平洋サケ資源回復調査事業の紹介（水産庁）
- (4) サケ自然再生産に関するプロジェクト(素案)に関する協議
- (5) その他

平成 25 年度さけます関係研究開発等推進会議

「成果普及部会」議事次第



日 時： 平成 25 年 8 月 5 日（月） 14:00～17:15
場 所： ホテル ライフォート札幌 （札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 TEL:011-521-5211）
主 催： 独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所

1 挨拶

主催者：北海道区水産研究所長 福田 雅明
来 賓：水産庁 増殖推進部 栽培養殖課 課長 保科 正樹

2 議 事

サケ資源の現状、想定される変動要因と今後の対応

【背景と目的】 我が国へのサケ来遊数は 2008(平成 20) 年から減少傾向を示し、2010(平成 22) 年以降 3 年連続で 5,000 万尾を割り込んでいます。特に、北海道から本州にかけての太平洋沿岸で来遊数の減少が顕著です。また、昨年（2012(平成 24) 年）には、回帰したサケ親魚の小型化が全国的に観察されました。本部会では、沖合調査で得られた情報を含む北太平洋地域におけるさけます資源の現状、北海道や岩手県における地域別のサケ資源の変動状況を紹介します。そして、サケ資源の回復と安定的維持を目指し、想定される資源変動要因に対応した研究開発、技術開発やふ化放流の方向性を提言します。

(1) サケ資源の現状と予測に関する研究開発等の成果情報 (14:15 - 15:30)

- ① 北太平洋におけるサケの資源状況
北海道区水産研究所 さけます資源部次長 浦和 茂彦
- ② 岩手県におけるサケの資源状況
岩手県水産技術センター 主任専門研究員 清水 勇一
- ③ 北海道におけるサケの資源状況
北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場 研究主幹 宮腰 靖之
- ④ 平成 25 年度のサケ来遊見込み
北海道区水産研究所 研究員 渡邊 久爾

－ 休 憩 －

(2) サケ資源の変動要因と今後の対応に関する情報提供 (15:45 - 16:55)

- ① 想定されるサケ資源の変動要因
北海道区水産研究所 資源評価グループ長 斎藤 寿彦
- ② 北海道におけるサケふ化放流概況の変遷
北海道区水産研究所 業務支援課長 安達 宏泰
- ③ 「太平洋サケ資源回復調査事業」について
北海道区水産研究所 さけます資源部長 永澤 亨

(3) その他 (16:55 - 17:15)

本推進会議及び北水研業務に対する要望及び意見交換